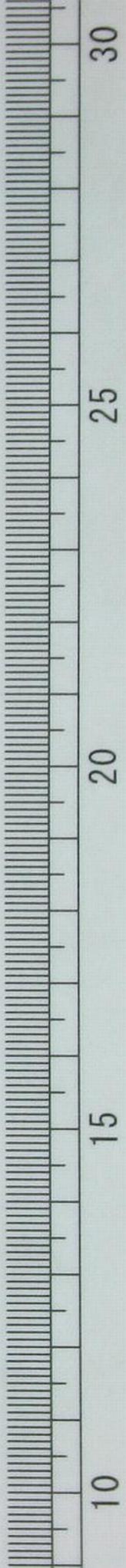
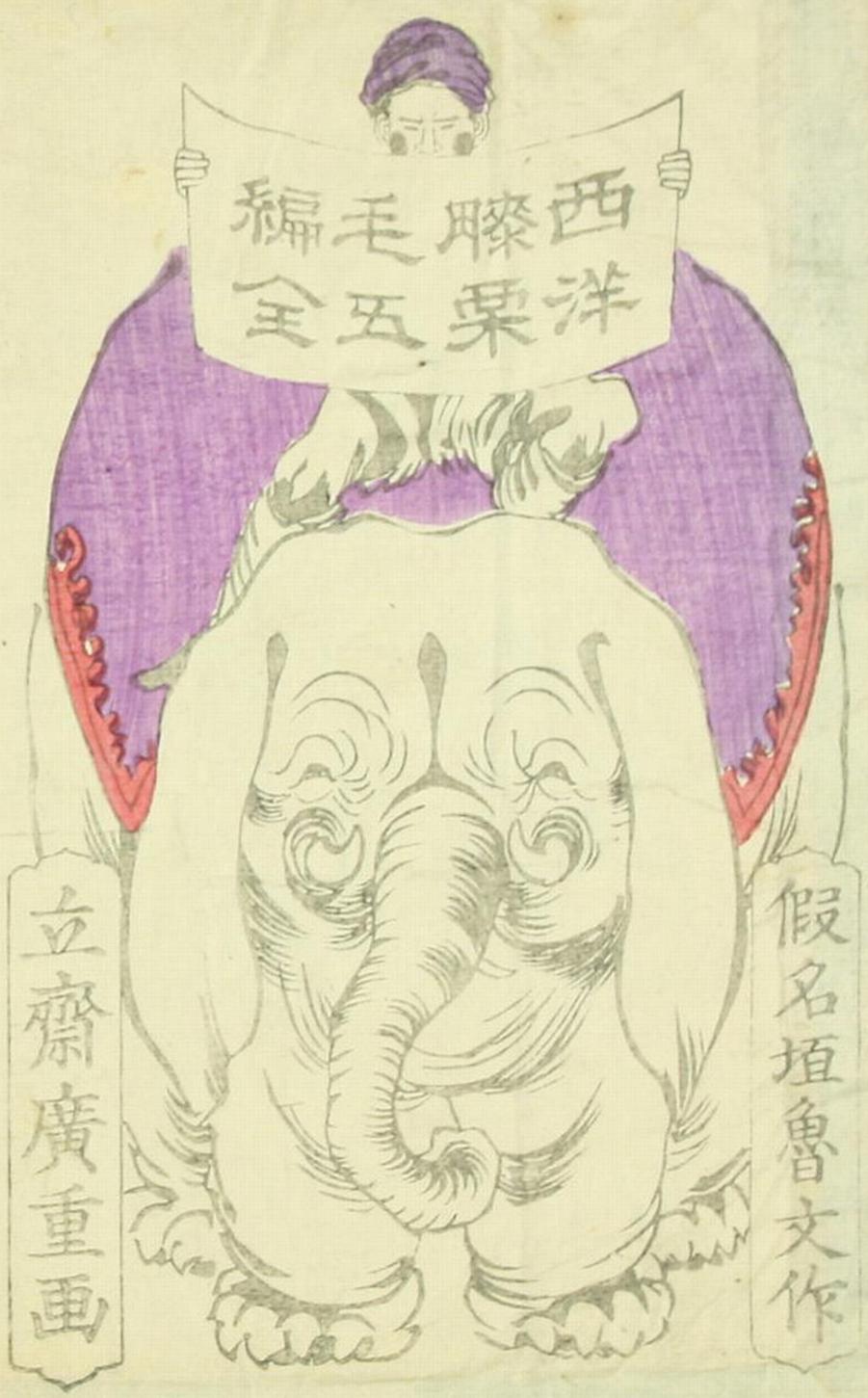


西洋道中膝栗毛

五編
上



A 750
9



西洋道中藤栗毛第五編序

天地間一大戲場と。支那の康熙爺が飛虹傳の
 序文も開化の方今に至りては。狂言の脚色未だ
 ぞ。文明日進。究理月行。堯舜莽操
 の役割も不的當とせん。されば五大洲の本舞臺
 仰ぎて葭天井の天文を窺ひ。伏々奈落の地理
 を量るよ太陽の火入。圓球の旋轉と共に。造化

西洋道中藤栗毛五上

48-7771

氏の奇工を尽し。高嶽の山幕。海灣の浪板を飾
並。嶋嶼草木の畫割細密多ふ。場は因ての設
あり。經度緯度の縦横線に。迫上迫下の大道具
を繰り。日覆ひの夜国に。掃舞臺の沙漠に接
を。傳信機の張鉄ふ。トキヨノ、馬笛の號令をし知
らせ。気球船の中央乘。見物の肝膽を冷しむ。
開關の口キ狂言に。野蠻泉穴の古風はしく。發見の

新世界に。知覺半開の。三番叟あやうらんむらん。彼
紀元の一番組ふ。天主教人の術譲り。大奇怪を引
返シ。帝國の簾屋臺王国の金襴共和政治の時代
世話。互市交際の開港。條約の公使の入船に。頼
呱チャルメラの樂を奏し。波戸場の端路出入の鳴物。
都て蒸氣の沸音を誂う。目今の新聞に譯文の
一夜漬。記載たりナ。あうよなつたアれムリ未ウ

魯西亞の國帝亞細亞半界の大立者。ペイトルヒ元
名入次て。英吉利女王の立阿山。俱小富強の評判
高く。佛蘭西國の一世帝。拿破崙名人の荒事。
歐羅巴洲の對陣敵國を轟多し。大詰の一戰
場。人氣を失ひ。政令紛轉の華盛頓名人の合衆
國の土豪良民を喝采と誉いせ。各部の員員
連中。イヨ大統領と称せらる。巨大ある哉地球の

舞臺將各國の盛衰。劇場の大入不入の如く時
勢の得失。依りあり。遮莫文官と兵士の講煉。弊
習一洗變革の。新狂言が當時の招看官。そ純
翻譯の正本を。書抜くせり。あの紋切形へ僅よ添
た滑稽洒落。仕組の浅き硯の海深く。濡さぬ
膝栗毛博覽會の結尾。で一小梨園と。見
捨あ。龍頭陸續て御見物。りよ。お終編第

五輯目開場其填詞告條西洋引と爾云

皇和紀元二千五百三十一年辛未春二月東京本

石街第二坊萬笈閣書房は食客中無為方小

毫を採く低睡の間戯れく題ス

牛膽煉藥黒牡丹之製主

假名垣魯文記

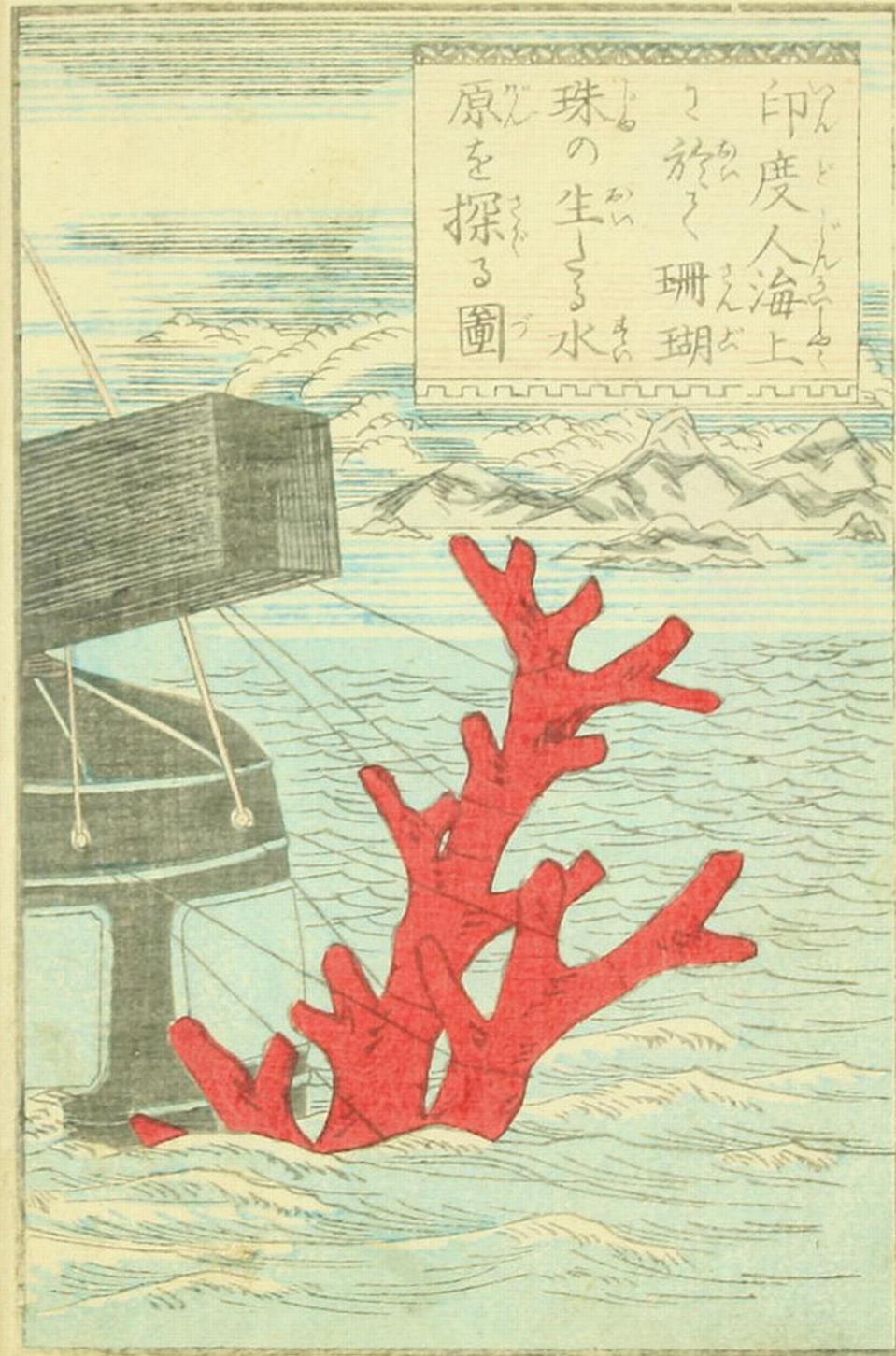


印度人平民男女之圖





西洋



印度人海上
 珊瑚
 珠の生くる水
 原を探る園

西洋

四

不敵萬卷行
萬里爲足大
言稱男子

卓堂

西洋道中膝栗毛五編上

東京 假名垣魯文戲著

山椒の小粒ども。びりりと辛く我 紳測を

小國をれども 宣珍翁古石易あゝと大い

しから今日中を。けららんやども邦國よ。敷を取

たるためしあ。三韓もたつくとる小類づき。琉

球も羊虫の擗げく。あつるの智仁武威の所室

化必のあよまぬ。徳活小潤小民の仕合せあゝ。

實小何りがつた所国恩。九牛肉の一斤をも。報
 ふ。因化の藤進歩。彼と我とある情をも。とら
 合し。利益を均す。富を多し。為要と。物幼
 宜の擧をつむめて。猶覽念人あり。むく。至促形の
 小粒の大版屋。ひら。此廣。務小。休。の。ま。た。る
 弥以。廊。小。八。妻。多。し。子。孫。し。高。買。し。他人の特
 象。福。と。ど。う。な。る。南。力。ま。九。の。象。噴。す。ド。里。
 活。汁。が。て。ら。介。玉。の。後。り。か。け。た。る。西。洋。送。中。船

中港の差別あり。酒。海。ち。ら。したる。甄。種。同。志。宜
 例のふ。び。じ。が。船。中。徒。然。を。あ。ぐ。さ。む。る。笑。ひ。の。種
 と。あ。ま。る。より。却。て。途。の。背。を。教。一。同。真。小
 の。と。あ。り。あ。り。形。て。死。御。船。の。登。載。を。分。て。先
 小。要。ふ。ら。ち。む。う。ひ。日。ナ。ン。と。い。ふ。小。橋。ふ。より。石。炭
 を。積。た。く。足。吏。より。印。渡。海。小。糸。の。ご。一。世。イ。ロ。ン
 と。い。ふ。橋。の。ち。ち。あ。る。コ。ウ。止。と。い。ふ。港。小。若。し。ぬ。あ
 セイロンハ英吉利。頭。あり。番。の。め。ぐ。り。三。百。余。里

港^{みなと}敷^{しき}ヶ所^{ところ}あり飛^ひ御^ご船^{せん}の入^い津^つする港^{みなと}をホイン
 トデゴウル」といふ處も「シंगाポウル」の^{しんがぽうる}時^{とき}候^{こう}と^と傳^{つた}へ
 産^{さん}物^{ぶつ}もお^おを^を産^{さん}じ^じその^{その}ら^らも^も不^ふ挂^け挂^け多^たく^く骨^{ほね}一^{ひと}を^をん^んの
 名^な産^{さん}た^たれ^れバ^バ一^{ひと}名^なを^を挂^け挂^け傳^{つた}へ^へとも^{とも}骨^{ほね}一^{ひと}を^をん^んの
 中^{ちゆう}の^の象^{さう}多^たく^くと^とれ^れを^を剔^き剔^きして^{して}牛^{うし}馬^ばの^の如^{ごと}く^くつ^つか^かふ
 若^{わか}あり^りされ^れバ^バ象^{さう}牙^がも^も活^{くわ}活^{くわ}い^いあ^あく^くさ^さぬ^ぬぐ^ぐ不^ふ細^{さい}工^{こう}し
 たる^{たる}賣^う物^{ぶつ}も^もある^ると^とい^いり^り新^{あたら}しく^く暢^{ちやう}覽^{らん}會^{かい}の^の一^{ひと}種^{しゆ}の
 ゴウル^{ごうる}港^{みなと}の^の旅^{りょ}舎^{しゃ}小^{せう}若^{わく}き^き船^{せん}中^{ちゆう}の^のと^とら^ら死^しひ^ひ去^さ旅^{りょ}

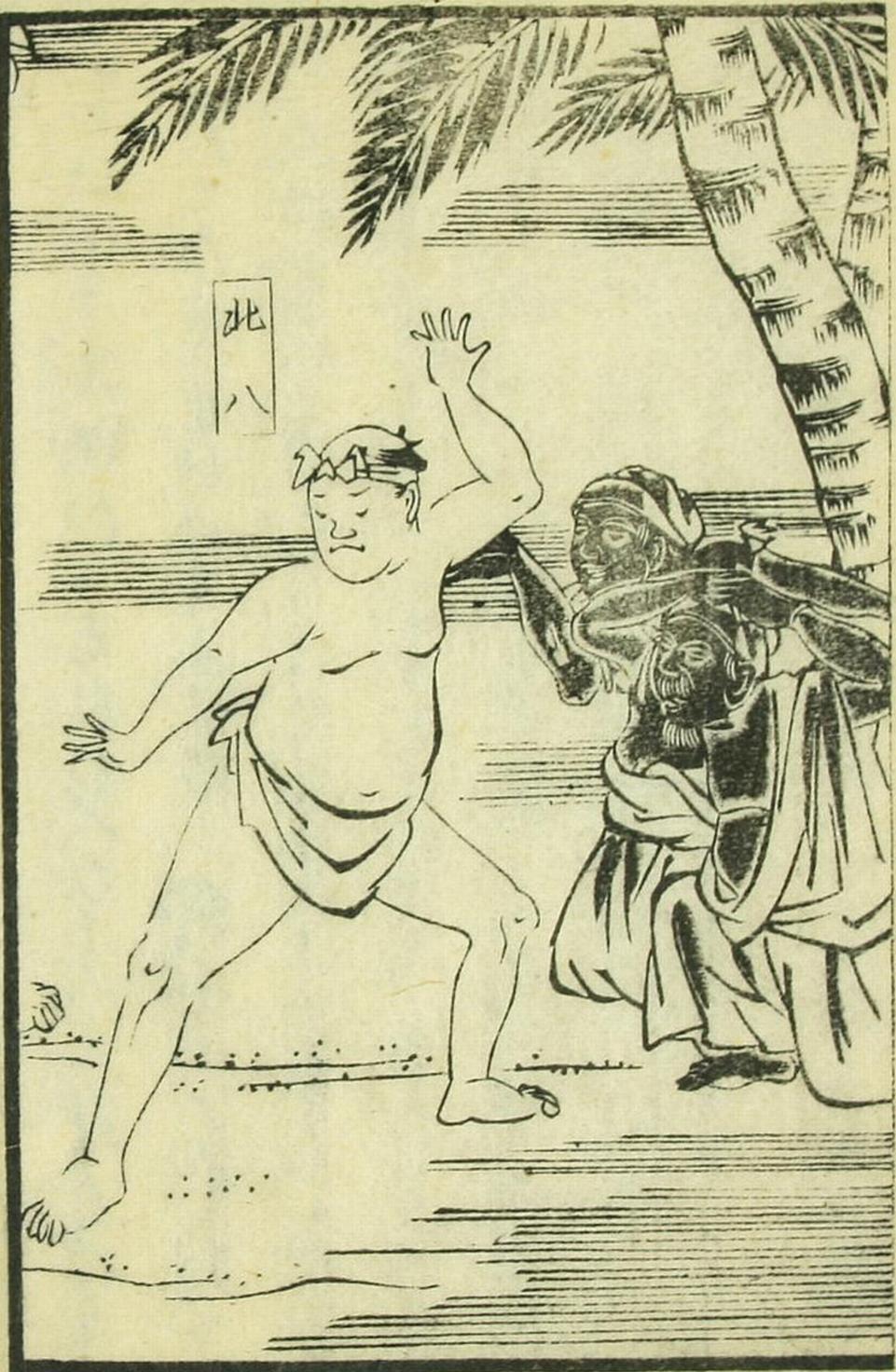
の^の骨^{ほね}骨^{ほね}れ^れを^をい^いさ^さか^かち^ちら^らま^まを^をい^いを^をし^しお^おの^の
 陸^{りく}意^いく^く打^{うち}ら^らろ^ろぎ^ぎ奢^あ熱^{ねつ}お^おた^たく^くい^い男^{おとこ}子^この^の
 禰^ねよ^よある^る若^{わか}あり^りく^く跡^{あと}以^い席^{せき}ハ^ハ八^{はち}通^{つう}以^い席^{せき}の^の三^{さん}個^ご
 も^も等^{とう}しく^く素^そ紀^きあ^あく^く會^{かい}多^たく^く終^{しゆう}じ^じ後^ごを^を一^{ひと}この^{この}
 旅^{りょ}者^{しや}れ^れ産^{さん}不^ふた^たち^ちら^らで^で此^{こゝ}知^ち被^ひ知^ちと^とえ^えある^るさ^さあ^あが
 ら^ら下^{くだ}キ^き二^に通^{つう}さん^{さん}印^{いん}度^ど領^{りやう}の^の熱^{あつ}い^いあ^あや^やア^アよ^よら^らる^るの^のう
 通^{つう}あ^あら^らし^し年^{ねん}箇^が年^{ねん}中^{ちゆう}を^をご^ごう^うと^とご^ごある^るから^ら若^{わか}め^めの^のが
 入^いら^らぬ^ぬく^く使^し用^{よう}ぶ^ぶ子^こ孫^{そん}一^{ひと}その^{その}や^やア^アそ^そう^うだ^だけ^けれ^れど^ど女^{にょ}

やれおけい奴つら者らをあげつけるのの孫が児まをて手だ玉ま
 おとものやうのあめんごうチツト大と人まげねんごけごせ
 話はなべらならうめんみまき意あららむののの總そう体てい
 邪よこ玉ぎのやららの日本あ人にをあもも孫み入みやうお見と
 こごうとけつるのからこららが勇氣ゆうをえせる祖そ
 だてめらやあらあれが花はなとんご投つけてやら
 アおそれでも富とみ本もとの降りおそも角ま力ぢの
 とどまの年とし交まわての仏在ざい世せとらの支也しがある

うらけいぶがえ祖かも志しれねんひようと種ちうと
 お花とんごまけでもまるやア我わ必ひつのちをらたら
 ら彼奴ま者らの知れをえておのごうからたら
 骨ほねとはをかりごし腰がこるムツくあーが滑て
 おのから安あんんご一ごん花とんごまけしとゆらう
 トさひひのえうう身みのあかのままとひの仲おのりシコをあら
 トあらうだれも合おあらうとゆあらをえるおまんらら
 ひとままとひおありままらく仲おとだんううせしゆうまあるごうう
 だんままらしやらあんをおおおたらむくがおおらりてうが
 ままらし北きた通とうんえねんごららの奴が出て来ぜ
 ちうらら



西洋東毛



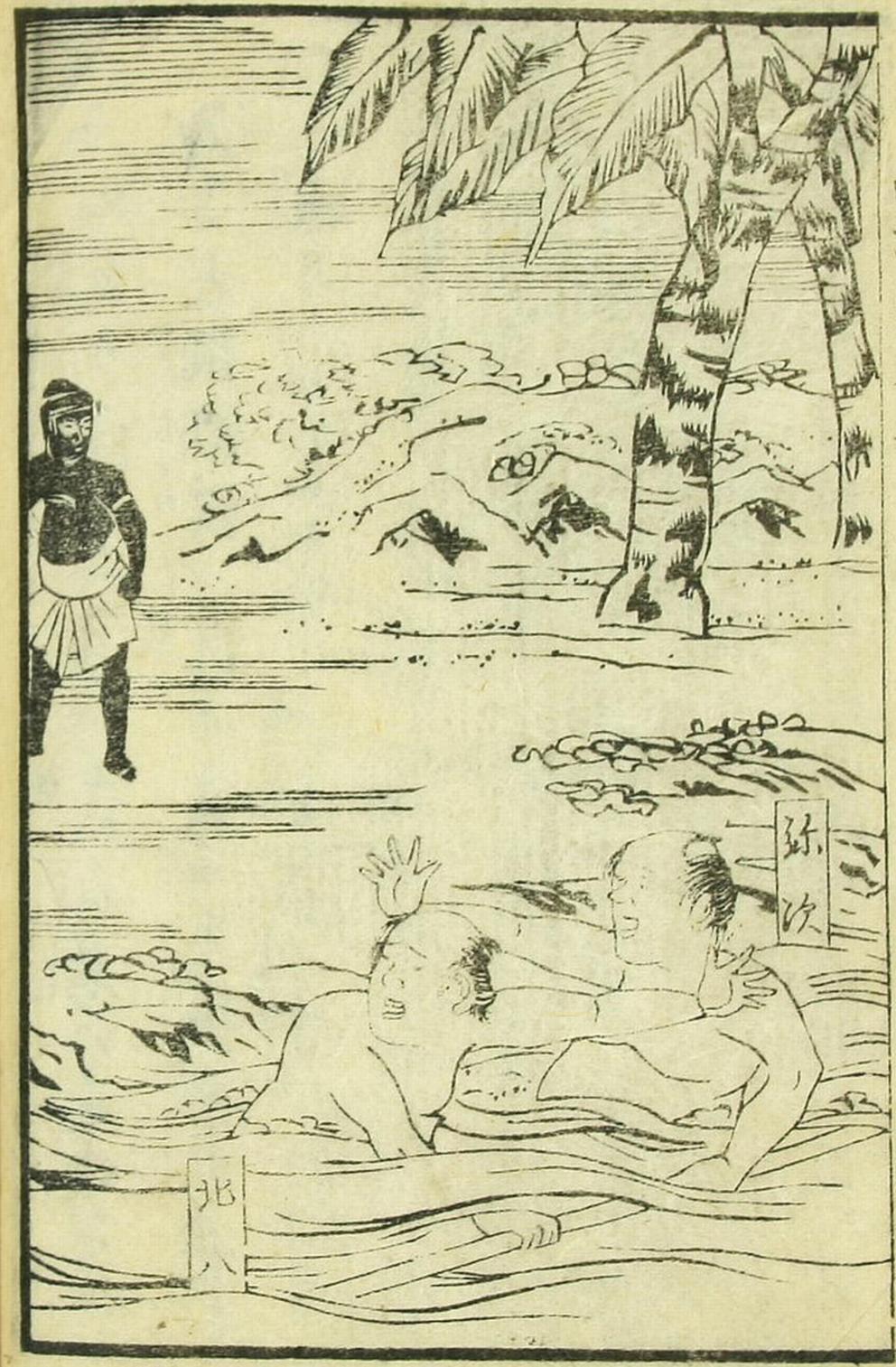
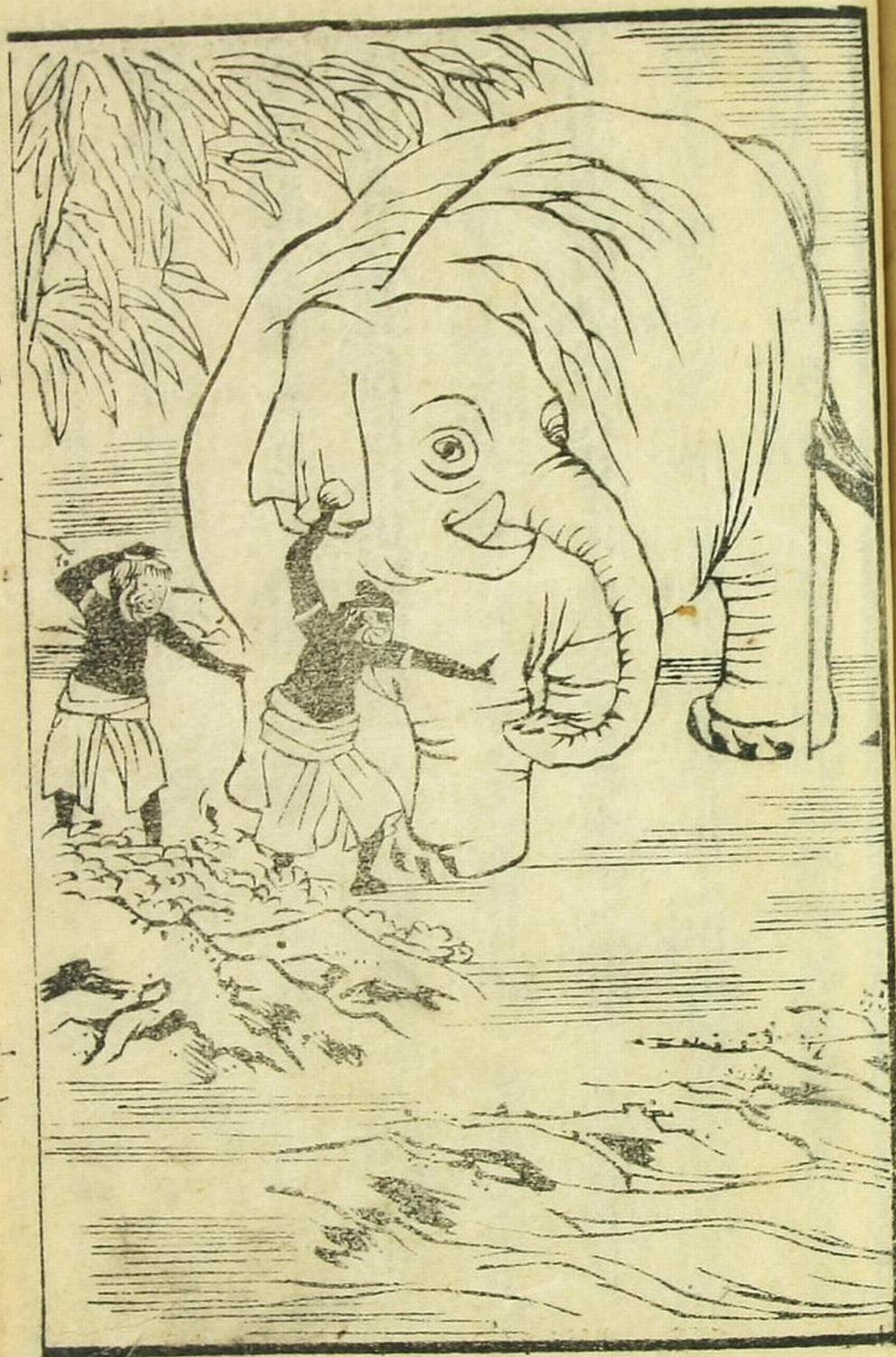
西洋東毛

のナ僕がゆレとらいつてごめをせから二人うあがら
 運去ぬ 孫 あんごとかかり合をつげりもすまぬじら
 浴室空紙かろ釣をとりそり子髪ををきやア
 がつく日本入おきむうひだてをきやアかりやア
 かつしもしから瘦後をとさ折ッて小たをり
 からびて替つげしてやらア 孫はきんみかとも
 ひげをせッちやア日本人のつらよほど通さん
 かぬりびおをきみせ入サア 悪ン坊めら括るも

つけてえやアがれらり〜そッ首を引ッてぬら〜
 岩をやハ膏ッてやるぞト
 首をのりあがら 孫 捨て去んらをきア〜ちりちり小ききらやの孫は解
 ありゆるごころのちりちりをきよりをき〜ひらりの去んらまねを
 たらんがハゆらぬらんをだ〜ぬけおらんらをき〜ひらりの去んらだ
 たらんら〜か〜し〜ひ〜ぬ〜を〜孫は解ハいたのて〜あ〜も〜あ
 たらんら〜あ〜ん〜人〜あ〜ひ〜は〜ひ〜ひ〜を〜と〜る〜ま〜づ〜い〜孫〜と〜た〜る〜と〜く〜ら〜ん〜ら〜
 孫はき〜り〜ま〜あ〜り〜ま〜い〜去〜ん〜ら〜を〜め〜つ〜い〜ち〜ち〜ら〜ら〜せ〜ら〜い〜の〜孫〜は〜ひ〜お〜う〜を
 ひ〜ら〜ち〜や〜あ〜ひ〜けん本まきけり〜る〜あ〜あ〜の〜こ〜ろ〜あ〜げ〜ぬ〜た〜か〜ら〜の〜あ〜あ〜ら〜い〜ひ
 あ〜く〜の〜こ〜ろ〜こ〜ろ〜孫は解のちりちり〜ら〜の子をひたし〜あ〜ひ〜た〜て〜孫は解
 解ハ八のか〜入〜け〜か〜け〜ら〜あ〜か〜ひ〜て〜さ〜ら〜を〜つ〜つ〜ひ〜ま〜れ〜ら〜せ〜ち〜ち〜あ〜あ〜ら〜い〜ち
 んの志ゆるあ〜あ〜り〜て〜三人をめぐ〜け〜と〜あ〜を〜〜ら〜を〜た〜て〜ま〜ま〜と〜き〜ひ〜ら〜い〜ら〜あ〜あ〜ひ
 たらんら〜あ〜あ〜あ〜あ〜あ〜と〜を〜あ〜か〜ら〜る〜あ〜これを通〜サア〜〜たらんら〜い〜ん〜ら〜

西洋野毛五上

十一



北八

跡次

下らぶる中らだときめるのんぶどおんやまら
 除^{ヤト}はさんも松^{まつ}もツイそのきふるツくろくそり
 ぢうあよぎもあらねく棒^{ぼう}ちぎりを板^{いた}子の
 代^{しろ}りふくそ花^{はな}とんじとらうがアレが子^こモシ河^かをと
 うらみのぐせせうもぬりぬらや〜毛^けが
 とも〜おんのくおさうあつてつらかすうおんの
 やを脊^せ中^{ちゆう}小^{せう}甲^{かう}らをきよろくお捨^{すて}のあさる
 ぐだらひみ細^こ一^{いち}ままのぼしてさらるるり通^と

さんの屍^{しか}を移^{うつ}らひらんどとあひみせ入^い通^とさん
 がアツと一^{ひと}たああげるとたちまらおとと入^いひた
 おりこぬれさやうすでかこちがえんあ〜おツく
 あめんや〜たぬい屍^{しか}どだまをぬら〜りくとあツ
 たらららやアけ方^{かた}等の身^みの上^{うへ}ふかりる一^{いち}たふ
 がや〜と一^{ひと}生^{せい}けんぬら除^よはさんとあ〜りぐ
 おめんぐをよびたてたのサそのらもあ被^か河^かを
 がま〜は〜くろあやアが〜けま〜ど目^め中^{ちゆう}人^{にん}〜と

百華集巻五上

一七

さしけがをまづつけをせまのこすくひおげしを
 本のうりよりせくとえまぬーさそい大人等も
 せりしとわがへつりさうらそろー下りんめのと
 指小をまうけ幹小をまふまかゆるおのぢると
 一せけんめら着伸あゝのぢりたれど下り
 るらありー容易からほそのう入のぢるをりお
 思代とあぶれた小枝をのららぶあまをりたれ
 ぐらるぶれたたよりあーらりそ夢まぐーとまな

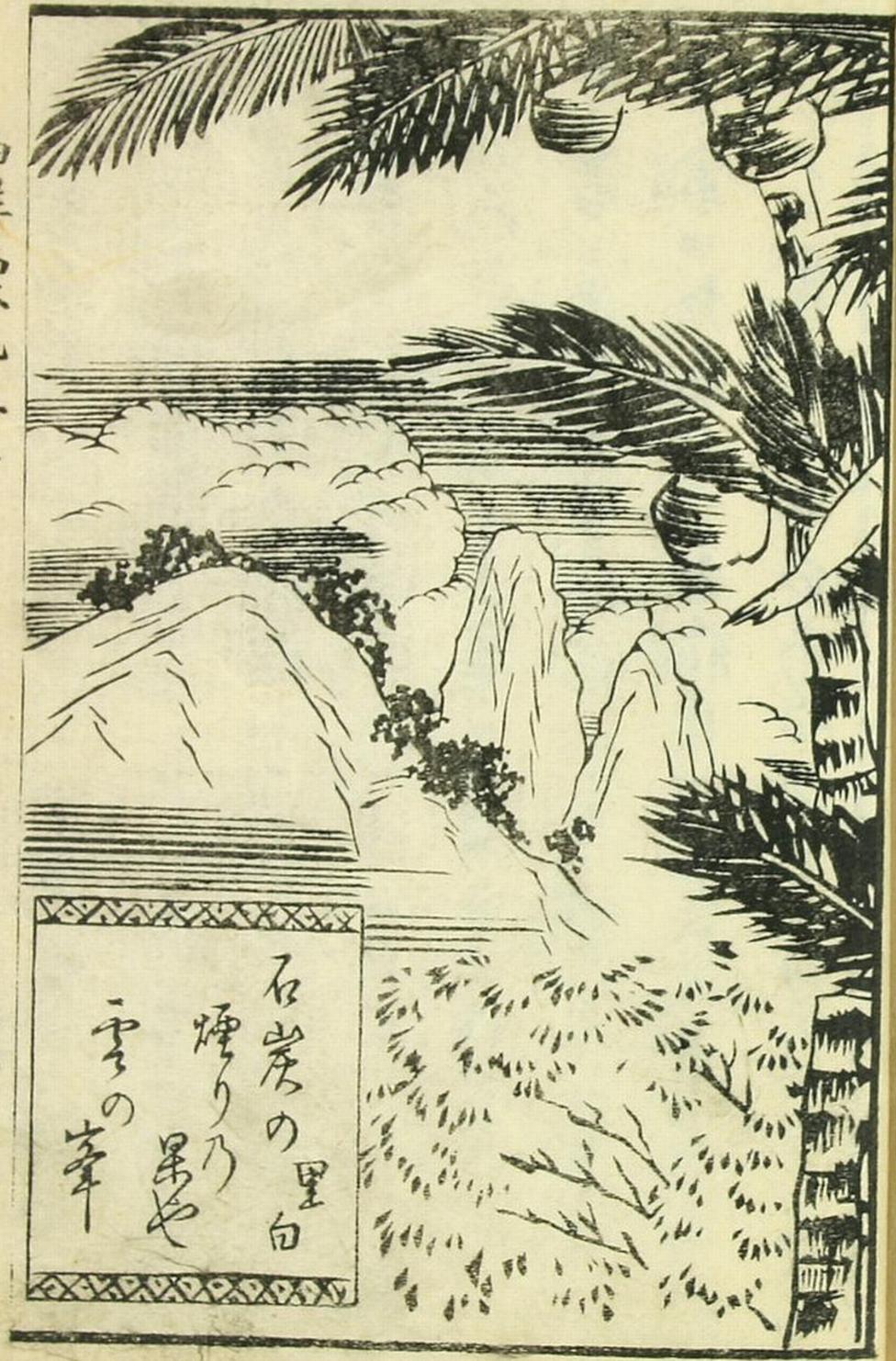
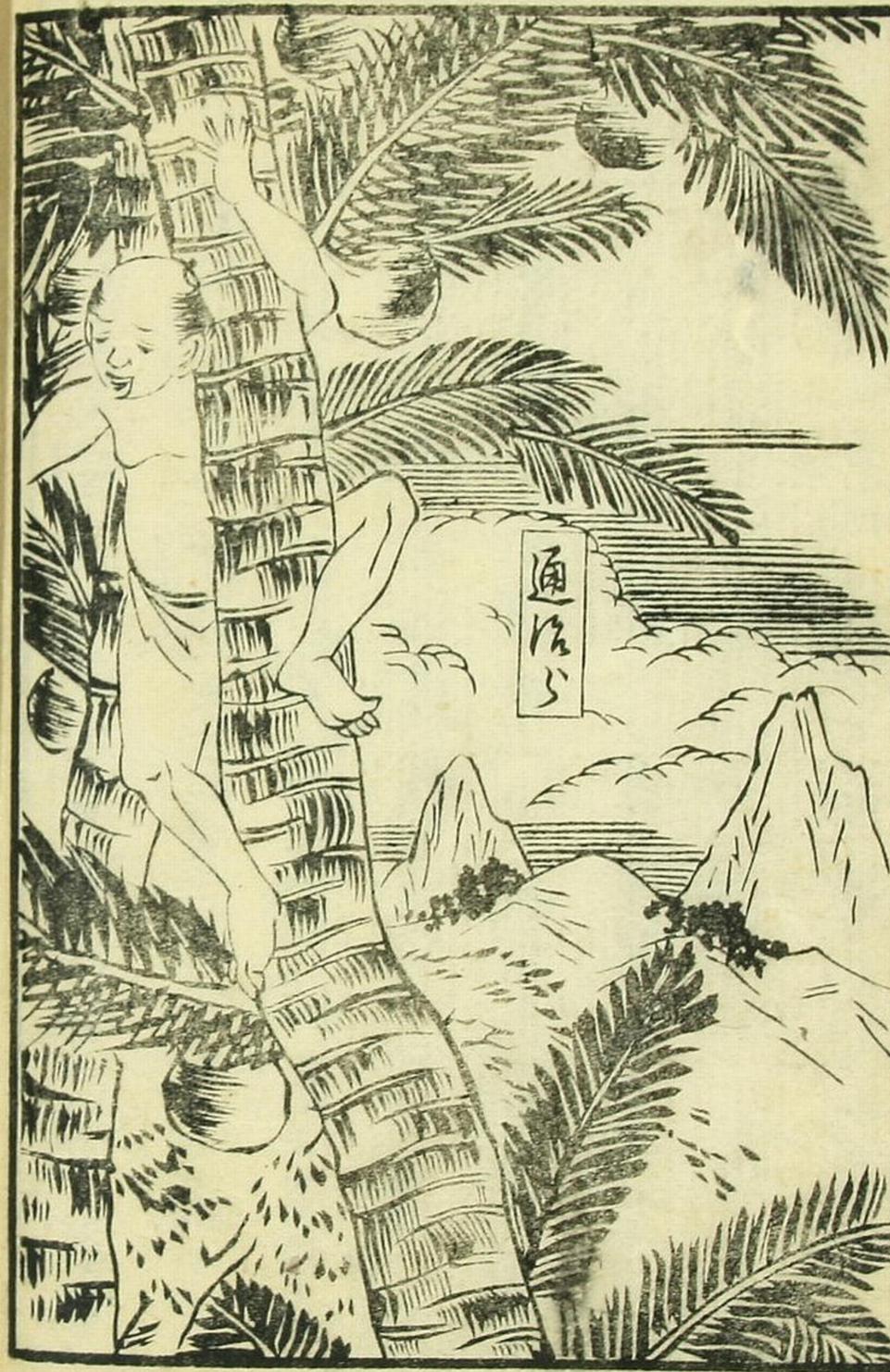
ーまよびさきまろしりゆらゆらゆらゆら
 とまよびのらまよびゆらゆらゆらゆらゆら
 とまよびより本のうりあゝあゝあゝあゝ
 糸のきんお八さんやアイマイトーさだー
 よびたろおひろおろととめ糸の糸お八さんゆらゆらののま
 をまよびつけたれとまよびゆらゆらまよびゆらゆらゆら
 まよびゆらゆらゆらゆらの本の「ヤア」ーア、本のよおあ
 ろまよびゆらゆらゆらゆら糸「ホ」ニ通さん
 通さんあやアおろ通さんー糸「ホ」ニ通さん
 ーあお通さんが本のうりあゝあゝあゝあゝ
 とそのやアあろこゝあろなららあろあろあろあろ

あせく獲らら下がどどめーあつらう 塔「あんの
 ねんどうろろちやアどどんねん殺らからあや
 きるきん玉のヲぶらぶらしくをりやせらん
 たらアらみせんみあのやア押子の突らなるん
 どもヒウドロローふちげんねん
 通「ライー」親おどろどろあろしてあそん
 せん海はせんハせんも昔者どん修七どん
 ともやートせりたるも海はらりわハいあんおきりー
 まろこつがあれたしは解あまぶたのせんねん

たるとかゆひてひろびろろろどもあーおあらぬあと北「ある
 とまらたることあろけんせんうこそまらぬるく
 ねど親おやろろー生通さんおちげんせん
 せんせ いろ「ホンニ通公タぞりしそ水のあろあ
 たりの本のろろのぶったらう 海「あらかん
 びあでもさらされそ息とあまけしめい
 せんせろろ「ゆしてもちやくあはしてやろ
 めんごう頂上まぞろニ丈夫もあるだらう 北「つら
 でおあちちりやうをめぐつろすをしまか

ありまづらひらひらうだんおやアねくぞうろく
 風をじてをほしそやんあせくおめくたちが一組不
 ぞしことおやアねくろ「ヨツトありやまお
 係孔の楠跡に席日うちの上風を吹きつみせ
 そゆくけあれじとらつを西洋紀元十二万二千
 四百六十六年十萬盤玉の軍帥「カケテワレ
 とらふ人があつそく「マコ山」のりくさのたとふ味
 おの兵が二万二千三百三十三騎とりあもの

款小進まそく 百日紅の本に迎のねった子とと
 ろく本の上から鉄炮を三万二千三百三十三
 挺らちどふおろくところをあせバ款をこまふ
 へきあはしそく 味方の勝利とみったりなる
 コウく 跡はさんむごいらくかげんはしてあろ
 まユ風があるあろおやくあせくらのあ日ご
 くれてあせふアをりしい 跡はサそらんぞう
 からあせくおろくと鉄がさうりやせんがらそぎご



石炭の里
 煙り乃
 果也
 雪の
 峯

かゝる事不本父おとりかゝるやせう形でお
せんも先け本の言サが三丈とつりのやま
ありくお本念の階梯志やアる不阿のね
からそとが工風ご愛お男が六人おるから
めくさんをはじめめんあが志めくおるあんど
ををぐーそぬ六尺づつあらくけ本はむまび
てサ余のたあをを猫はしてそとく足をとあ
かけく途中まごのあむびをつけりやアぬ尺

あんどとえくく六人のあんどしだううぬ六三
十それ三丈おありやせうナントとのくあうの
妙くごせんせうとの法を歐羅巴志やアトク
ビコン「フミドヲシ」とのやまぜなんくも寛理
学をあげりやアの工風の出ねのサ北極
白帆を考らねくがへちまでもねく工風をてんぶ
鼻のさだへあらさげの跡おらさげてもあ
まかしても南帆をさげりやア知あがでるあ

ひら ますぞうでもらからちやく志やうせ通
 公が 待か 移くアリ 手をとらしてよんで
 おるへるサア さんあがふんどしをとろした

ト ひろびらひのちをあげふあのがふんどしとをぶじそ
 だせの 待は ねを じめ ひろびらうがめうつひ南吉借
 七のぬのちあんの下男ままでのぐれもをぶじてはだせを待う
 さの考よあーのかるところふひとますらをむすびつけあをーを
 口はしてとせふあーをさあうけさだんーとかこのどろくしそく
 むすびをさうとせふあうけてわりきこも通うらもひだ
 つだるんみくや夕へあひきたるひろびらうせとめあひつが
 あきををまあくもあぞ待はハもまがさるけまどとてまきれ
 よだわどふどろせの通うらもとふまきだれてらじだをあひ
 とあてせせひろびらうとまーとらちるまらかりきうるはひ

あのころねまのころをさるけしど
 まるもちふ見まうてふれをせけり ○ 弥次郎ハハの
 美人ハ通次郎がらぬおも実を 廣 義 等
 小かうらんかとあやぶとあがらひちーさ
 やだつぎのるふありぞまきく 弥 水 や一ツ首
 うかんぞせ

さうらうを学あざら 産の川を席
 やがてど 麻 ぐらまら 女あん
 北 さいらうまのよとこみ考やアへ布ちがあうり

西洋書目

七五

めいごおきふらちぞんごどつひびる

勝^{うち}たりとおもふお撲^{うまひ}も象^{ぞう}が鼻^{はな}

またこまれたるおの中^{なか}へり

糸^{いと}~~~~~ぞんごどん~~~~~ぞん~~~~~かき

イてもきれらや~~~~~ぞんだち糸^{いと}ごと

きり死^しつふ死^した~~~~~や~~~~~度^{たび}変^へいと立^た出^でぬ

西洋道中 藤栗毛五編上

010190522674

